

イチゴ灌水器具の商品化支援

大段アドバイザーによる支援

発明相談で福岡県知的所有権センターへ来訪されたことをきっかけに企業訪問が始まった

特許権・商標権取得に関するサポート

- 特許電子図書館を活用した先行技術調査の指導
 - イチゴ灌水装置の特許文献の解析等の支援
 - 特許、商標の出願方法の説明および出願書類作成の支援
- ### 知財戦略の構築に向けたサポート
- 効果的な知財の活用の支援
 - 製品開発と販売促進に向けた支援

中央製袋株式会社

イチゴ栽培農家からビニールハウスの均一灌水のできる資材と器具の要請により開発検討

- クラフト紙活用のアイデアの実用化
- クラフト紙と灌水ホースを同時に設置する器具を開発

新商品を知財で保護し競争力の強化を図りたい！

特許情報活用による成果

特許出願1件
特願2008-129358号
商標登録出願1件
商願2008-56654号

農家、農協に採用されつつあり、農業関係の展示会に出品して好評を得ている

この支援によって開発・販売された商品

商品名「みずみずシート」

苺畑の灌水チューブの下に敷くだけで、水を効果的に根にいきわたらせることができるため、水の量と灌水時間を大幅に短縮できます。また、苺にとって快適で安定した環境づくりが実現できると共に灌水チューブの使用を半減でき、経費の大幅削減につながります。

支援先企業の概要

- 会社名 中央製袋株式会社
- 代表取締役 赤司 欣也
- 住所 久留米市田主丸町鷹取
- 設立 1946年
- 資本金 4,100万円
- ホームページ <http://www.chuoseitai.co.jp/>

大段恭二(福岡県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

中央製袋株式会社では、針葉樹を使ったクラフト紙を用いて衛生面及び耐久性に優れた素材で改良を加え、初めて園芸用補助資材としての利用に成功されました。今回は、クラフト紙と灌水ホースを同時に設置する器具の開発の製品化及び技術支援を行いました。

この製品は、農家の効率化、イチゴ収穫の増大と合わせて、自然素材を原料としたクラフト紙でできているため安全安心であることや、経費節減も見込めるため、今後の販売の拡大も大いに期待できると思います。



平成21年2月現在

